

家庭用及びこれに類する電気機器の安全性— 第 2-35 部：瞬間湯沸器の個別要求事項

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	22.102	<p>出口開放形湯沸器に水量を調整するバルブが組み込まれている場合には、そのバルブを閉じて、機器の入口に 2 MPa の水圧を加える。 水圧は、規定の圧力まで…。</p>	<p>出口開放形湯沸器に水量を調整するバルブが組み込まれている場合には、そのバルブを閉じて、機器の入口に 2 MPa の水圧を加える。 圧力開放装置は、動作しないようにする。 水圧は、規定の圧力まで…。</p>
	22.109	この試験は、フロースイッチを組み込んだ機器については実施しない。	(削除)
	22.109.3	発熱体が…、圧力が 1.1 MPa に達するまで一様に上昇させるその圧力を 1 分間維持する。	発熱体が…、圧力が 1.1 MPa に達するまで一様に上昇させる。その圧力を 1 分間維持する。
	24.1.2	<p>JIS C 9335-1 の 24.1.2 によるほか、次による。 22.107 の試験中に自己復帰形温度過昇防止装置が動作する場合には、動作サイクル数を 1 000 回に増やす。</p>	(削除)
	24.102	<p>温度過昇防止装置を 5 回動作させ、…各サイクルは、22.107 の試験中に測定した最大値とその半値との間の温度変動からなり、各サイクルは、同一の温度で開始する。</p> <p>保護装置が圧力に対して…各サイクルは、機器の定格圧力とその半値との間の圧力変動からなり、各サイクルは、同一の圧力で開始する。</p>	<p>温度過昇防止装置を 5 回動作させ、…各サイクルは、22.107 の試験中に測定した最大値とその半値との間の温度変動からなる。</p> <p>保護装置が圧力に対して…各サイクルは、機器の定格圧力とその半値との間の圧力変動からなる。</p>

平成 18 年 7 月 3 日作成